



潮見が丘中学校 学校だより 令和5年7月21日発行



学校教育目標

- 自ら学び知性をみがく生徒 ○心情豊かで仲間と共に伸びる生徒 ○心身ともにたくましい生徒

『全校応援』～持続可能な潮中の精神をつなげる～

校長 齊藤 康輔



今年の中体連は『全校応援』を行う…。7月8・9日の管内中体連大会（球技）において『全校応援体制を組んで臨む』こと。コロナ禍が落ち着き、社会的な活動が再燃してきたこの夏に、潮中は新しい一歩を踏み出す。全ての競技会場に出向くことは難しいが、サッカー会場と野球会場は近い。特に、サッカー大会は、本校が事務局校である。目の前のサッカー場で全校応援を行うことにした。吹奏楽部の生演奏による開会式。文化部生徒が作成した応援横断幕…初戦の準決勝では、サッカー部が躍動した。前半は応援団も『どのように声を出したらいいのか？』わからない様子であったが…サッカー部員の一人一人の活躍に応援団も火がついた。後半は大歓声である…声援の後押しもあり、大量得点での勝利を勝ち取った。

2日目の大沼球場での野球大会。アルプススタンドでの吹奏楽部の応援演奏…高校野球の生中継を見ているようであった。保護者や地域の人たちの応援と吹奏楽部の応援演奏が見事に呼応している。…ここで大きな変化があったのだ。予定では、準決勝だけ応援演奏を行うことになっていたが、吹奏楽部員たちから『決勝戦も吹きたい』と申し出があり、突き刺さるような日差しの中…吹奏楽部員たちも汗を流して全力演奏を行った…顧問の先生も部員保護者の方も楽器を持って『全力演奏』である。相手チームのスタンドからも吹奏楽部の演奏が鳴り響く…もちろん『潮中の応援演奏が一体感でも演奏内容でも勝っている』ことは明白だ。その『応援』に『つながり』を感じ…吹奏楽部の全員が『自己有用感』『自己肯定感』…『母校への献身・所属感…』…何よりも『潮中生としてのプライド（誇り）』を感じたはずだ。

…言葉は繰り返し繰り返し『口にする』ことで『自分のもの（精神）』になります。

私は伝え続けてます。『人はつながりの中で生きている・生かされている』



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



ふるさととともに、歩む

地域みなさん、潮中生のよさや持ち味の発揮の場を与えてくださりありがとうございます。

御神輿では、「中学生がいれくて助かった～」という声、「小学生のお世話活動頑張ってたよ～」という声など。潮中生を支えてくれる声にあふれていました。

また、北門神社祭のスタートをかざる音楽大行進。天候が不安定な中での行進でしたが、安定した演奏で、神社祭の開始を彩ってくれました。

ありきたりな言葉ですが、「誰かのために力を発揮する。それは周り巡って自分への激励につながる。」7月のスタートでした。



つながりが背中をおす

8日～9日にかけて、管内中体連球技大会が市内各地で開催されました。それぞれがこれまで積み上げてきた時間そして支えてくれた保護者・地域みなさんの想いに背中を押されながら、自分を表現しました。

試合なので勝ち負けという結果はついてきます。でも、その過程の中で、どんなに劣勢になっても、最後まで投げ出さずに、食らいついていく、そんな姿も随所に見られました。あなたを支えてくれる人は必ずいます。そのつながりを信じる勇気を持って、次のステップへ！！

さて、7月30日には、吹奏楽コンクール稚内地区予選が開催（稚内総合文化センター）されます。そして、8月19日～26日には、図書館にて文化部の作品展示が行われます。つながりはお互いにつくりあうことで強くなります。仲間への激励を。



学校給食センターの調理員を募集しています！

現在、下記内容でハローワークを通じて募集しています。お知り合いの方への声かけ等、できる範囲で構いませんのでご協力いただくと幸いです。

- | | | |
|--------|---------------------|--------|
| 【勤務時間】 | ① 8:00～11:00 の1日3時間 | 土日祝日休み |
| | ② 8:30～11:30 の1日3時間 | 土日祝日休み |
| | ③ 8:30～15:30 の1日6時間 | 土日祝日休み |

【賃 金】 1時間あたり 948円

【仕事内容】 学校給食の下処理や清掃等

【そ の 他】 年齢・学歴・資格の有無等は問いません。

【連絡先】 働くことができそうな方、興味がある方は
ハローワーク稚内までご連絡ください。

Tel 34-1120

心の相談窓口



子ども相談支援センター
QRコードです。

8月行事予定は、学校ホームページよりご確認をお願いします。

学校ホームページを閲覧していただき、ありがとうございます。潮中生の様子を配信しています。

